

TEL 0228-32-5111

# 平成26年12月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社 倉元製作所

上場取引所 東

URL http://www.kuramoto.co.jp コード番号 5216

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 聡 問合せ先責任者(役職名)経営管理部長 (氏名) 柴田 哲

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上る	吉	営業利	益	経常和	J益	四半期糾	·利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	3,398	△9.5	△34	_	△91	_	△106	_
25年12月期第2四半期	3,755	△17.2	85	△60.4	70	△62.6	146	△37.1

(注)包括利益 26年12月期第2四半期 △94百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 173百万円 (△26.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△6.57	_
25年12月期第2四半期	9.07	_

### (2) 連結財政状態

(=) X2 (A)				
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年12月期第2四半期	11,310	3,472	30.7	215.11
25年12月期	11,788	3,566	30.3	220.96

(参考)自己資本 26年12月期第2四半期 3,472百万円 25年12月期 3,566百万円

# 2. 配当の状況

- HO - 17 J ( ) 0			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	_	0.00		0.00	0.00
26年12月期	_	0.00			
26年12月期(予想)			_	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

# 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

	(%表表	示は、対前期増減率)
純利益		1株当たり当期 純利益
円	%	円銭

	売上高	高	営業和	刂益	経常和	<b>训益</b>	当期純	利益	1株当たり当期    純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	8,500	9.4	600	129.5	500	136.5	400	57.1	24.78
						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·		

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	16,143,170 株	25年12月期	16,143,170 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	880 株	25年12月期	880 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	16,142,290 株	25年12月期2Q	16,142,290 株

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	• 2
(1)経営成績に関する説明	. 2
(2) 財政状態に関する説明	. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	. 2
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	. 3
4. 四半期連結財務諸表	• 4
(1)四半期連結貸借対照表	• 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	• 10
(継続企業の前提に関する注記)	• 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	• 10
(セグメント情報等)	• 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年1月1日~平成26年6月30日)におけるわが国経済は、総じて緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による弱い動きや、業種による回復程度の差異も見受けられました。

このような中、当社グループの [ガラス基板事業] は、トータル的視点による生産体制の調整の影響等により受注が軟調に推移致しました。一方、 [精密研磨布事業] は、ハードディスクドライブの在庫調整が一段落したこと等に伴い受注が回復致しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,398百万円(前年同四半期比9.5%減)に、損益面では [ガラス基板事業]の操業度低下等の影響を受け、営業損失は34百万円(前年同四半期は85百万円の営業利益) に、経常損失は91百万円(前年同四半期は70百万円の経常利益)となりました。

## 「ガラス基板事業]

ガラス基板事業においては、生産基盤の海外シフトや海外との競争激化に伴い受注が低迷し、売上高は1,934百万円(前年同四半期比24.7%減)に、セグメント損失は125百万円(前年同四半期セグメント利益は146百万円)となりました。

## 「精密研磨布事業〕

精密研磨布事業は、受注の回復により、売上高は1,360百万円(前年同四半期比25.2%増)に、セグメント利益は158百万円(同412.2%増)となりました。

### [その他事業]

その他事業は、産業用機械製造販売等でありますが、売上高は152百万円(前年同四半期比15.8%増)にセグメント損失は77百万円(前年同四半期セグメント損失は110百万円)となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

# ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて478百万円減少し、11,310百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金並びに商品及び製品の減少等から436百万円減少し、3,776百万円に、固定資産は、減価償却費の計上等により41百万円減少し、7,533百万円となりました。

### (負債の部)

負債は、営業外支払手形の増加の一方、借入金の返済等により383百万円減少し、7,837百万円となりました。 (純資産の部)

純資産は、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金の欠損が拡大したため、94百万円減少し、3,472百万円となりました。

# ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は1,213百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は441百万円(前年同四半期は419百万円の獲得)となりました。これは主に減価償却費を計上したこと及び売上債権が減少したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は88百万円(前年同四半期は143百万円の使用)となりました。これは主に有形固 定資産の取得によるものです。

# (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は323百万円(前年同四半期は306百万円の使用)となりました。これは主に借入金の返済によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

市場環境の不透明感はありますが、当社グループでは得意先のニーズを的確に捉え、新たな付加価値のための技術構築に注力するとともにモノづくり力を一層強化し、今後の収益の確保に努めてまいります。

平成26年12月期の通期業績予想については、平成26年2月13日の「平成25年12月期決算短信」公表時の予想数値に変更はありません。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
  - (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
  - (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
  - (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。
- 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過年度より抜本的な経営体質の改善及び収益基盤の強化を継続実施しております。当第2四半期連結累計期間においては、一部その効果があらわれたものの、第1四半期連結累計期間の損失を補うまでには至らず、営業損失34百万円、経常損失91百万円を計上するに至っておりますが、収益構造の改善及びキャッシュ・フローの安定化が引き続き図られております。その一方で、取引金融機関に対する借入金の返済猶予の状況は継続しており、取引金融機関によって期限の利益の確保が短期にとどまっている状況となっております。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

そこで、当社グループは、当該状況を解消するための対応策として、ますます収益構造及びキャッシュ・フローを 安定化すべく経営体質のさらなる改善を推し進めるとともに、それらを反映した事業計画を策定し、これに基づく借 入金返済計画について取引金融機関からの同意を得られるように協議しております。その結果、全ての金融機関から 返済計画に対する一定の同意が得られております。

以上を踏まえ、収益構造及びキャッシュ・フローの安定化と取引金融機関からの一定の同意が得られていること等を総合的に勘案した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

# 4. 四半期連結財務諸表

# (1) 四半期連結貸借対照表

		(十四・111)
	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 193, 564	1, 223, 505
受取手形及び売掛金	2, 157, 107	1, 723, 297
商品及び製品	161, 646	121, 963
仕掛品	225, 493	248, 568
原材料及び貯蔵品	217, 476	187, 682
繰延税金資産	197, 713	199, 859
その他	60, 487	71, 983
貸倒引当金	$\triangle 446$	△353
流動資産合計	4, 213, 044	3, 776, 506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2, 206, 213	2, 153, 972
機械装置及び運搬具(純額)	1, 356, 264	1, 311, 540
土地	3, 458, 305	3, 458, 309
その他(純額)	109, 787	140, 83
有形固定資産合計	7, 130, 570	7, 064, 650
無形固定資産	79, 484	77, 73
投資その他の資産	365, 670	391, 394
固定資産合計	7, 575, 725	7, 533, 780
資産合計	11, 788, 769	11, 310, 29
負債の部		11, 010, 20.
流動負債		
支払手形及び買掛金	535, 555	411, 28
短期借入金	4, 432, 318	4, 316, 77
1年内返済予定の長期借入金	337, 998	274, 480
未払金	576, 360	555, 599
未払法人税等	30, 582	47, 13
営業外支払手形	34, 018	132, 920
その他	195, 166	166, 229
流動負債合計	6, 141, 998	5, 904, 42'
固定負債	0,111,000	0,001,12
長期借入金	1, 732, 337	1, 606, 710
繰延税金負債	50, 897	57, 129
退職給付引当金	110, 837	100, 07
役員退職慰労引当金	101, 002	102, 31
その他	84, 855	67, 309
固定負債合計	2, 079, 930	1, 933, 544
負債合計	8, 221, 928	
只俱口可	0, 221, 928	7, 837, 971

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4, 885, 734	4, 885, 734
資本剰余金	6, 335, 992	6, 335, 992
利益剰余金	$\triangle 7,748,992$	$\triangle 7,855,064$
自己株式	△411	△411
株主資本合計	3, 472, 324	3, 366, 251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94, 516	106, 070
その他の包括利益累計額合計	94, 516	106, 070
純資産合計	3, 566, 840	3, 472, 321
負債純資産合計	11, 788, 769	11, 310, 292

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

		(予匹・111)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	3, 755, 475	3, 398, 600
売上原価	3, 072, 048	2, 845, 043
売上総利益	683, 427	553, 557
販売費及び一般管理費	597, 562	587, 939
営業利益又は営業損失(△)	85, 864	△34, 382
営業外収益		
受取利息	827	772
不動産賃貸料	3, 567	6, 863
補助金収入	55, 812	18, 419
その他	16, 605	6, 777
営業外収益合計	76, 813	32, 833
営業外費用		
支払利息	83, 455	78, 226
その他	8, 956	11,656
営業外費用合計	92, 411	89, 882
経常利益又は経常損失(△)	70, 266	△91, 431
特別利益		
固定資産売却益	17, 163	14, 486
役員退職慰労引当金戻入額	74, 036	_
特別利益合計	91, 200	14, 486
特別損失		
固定資産売却損	403	_
固定資産除却損	727	449
特別損失合計	1, 131	449
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期	160, 335	△77, 394
純損失(△)		△11,394
法人税、住民税及び事業税	7, 435	31,002
法人税等調整額	6, 514	△2, 324
法人税等合計	13, 950	28, 677
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	146, 385	△106, 072
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	146, 385	△106, 072

(四半期連結包括利益計算書) (第2四半期連結累計期間)

(単位:千	円)	
-------	----	--

		(1 = 114)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	146, 385	△106, 072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26, 658	11, 553
その他の包括利益合計	26, 658	11, 553
四半期包括利益	173, 043	△94, 519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173, 043	△94, 519

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半 期純損失(△)	160, 335	△77, 394
減価償却費	305, 564	274, 861
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△514	△93
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6, 348	$\triangle 10,759$
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△407, 686	1, 315
受取利息及び受取配当金	△878	△801
支払利息	83, 455	78, 226
為替差損益(△は益)	$\triangle 2$	0
有形固定資産売却損益(△は益)	$\triangle$ 16, 760	△14, 486
固定資産除却損	727	449
補助金収入	△55 <b>,</b> 812	△18, 419
売上債権の増減額 (△は増加)	47, 944	433, 810
たな卸資産の増減額 (△は増加)	56, 682	46, 402
仕入債務の増減額(△は減少)	△24, 822	△124, 273
未払又は未収消費税等の増減額	$\triangle 3,774$	△36, 459
その他の資産の増減額 (△は増加)	7, 222	△14, 350
その他の負債の増減額(△は減少)	332, 015	△28, 949
その他	△1,029	△1,044
小計	489, 013	508, 034
利息及び配当金の受取額	898	821
利息の支払額	△83, 260	△81, 092
補助金の受取額	55, 812	18, 419
法人税等の支払額	△43, 250	△14, 504
法人税等の還付額	56	10, 251
営業活動によるキャッシュ・フロー	419, 270	441, 929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△118, 613	△91, 994
有形固定資産の売却による収入	17, 441	14, 486
投資有価証券の取得による支出	△543	△20, 830
投資事業組合からの分配による収入	12,000	8,600
貸付金の回収による収入	573	149
その他	△54, 513	1, 163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143, 654	△88, 425

		(単位:千円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△111, 552	△115, 542
長期借入金の返済による支出	△177, 183	△189, 145
リース債務の返済による支出	$\triangle 2,596$	△4, 789
割賦債務の返済による支出	$\triangle 14,742$	△14, 084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△306, 074	△323, 561
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	$\triangle 0$
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△30, 455	29, 940
現金及び現金同等物の期首残高	1, 439, 149	1, 183, 564
現金及び現金同等物の四半期末残高	1, 408, 693	1, 213, 505

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

# 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	‡	報告セグメント	`	- II.		調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガラス基板	精密研磨布	計	その他 (注) 1	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	2, 567, 736	1, 067, 710	3, 635, 447	120, 028	3, 755, 475	_	3, 755, 475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	19, 025	19, 025	11, 932	30, 958	△30, 958	_
=	2, 567, 736	1, 086, 736	3, 654, 473	131, 961	3, 786, 434	△30, 958	3, 755, 475
セグメント利益又は損 失 (△)	146, 666	30, 862	177, 529	△110, 834	66, 695	19, 169	85, 864

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械事業等であります。
  - 2. セグメント利益又は損失( $\triangle$ )の調整額19,169千円は、セグメント間取引消去であります。
  - 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	ガラス基板	報告セグメント 精密研磨布	計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	1, 934, 637	1, 322, 961	3, 257, 598	141, 002	3, 398, 600	_	3, 398, 600
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	37, 945	37, 945	11, 769	49, 714	△49, 714	_
計	1, 934, 637	1, 360, 906	3, 295, 543	152, 771	3, 448, 315	△49, 714	3, 398, 600
セグメント利益又は損 失(△)	△125, 890	158, 077	32, 187	△77, 198	△45, 010	10, 628	△34, 382

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械事業等であります。
  - 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額10,628千円は、セグメント間取引消去であります。
  - 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。